

平成23年度事業シート(概要説明書)《※平成22年度実施事業》

事業の概要	事務事業名	青少年健全育成推進事業					担当部	教育委員会事務局			
	会計区分	一般会計			事業類型	一般	担当課	生涯学習課			
	事業期間	平成12年度以前		～	平成30年度以降		担当係	青少年育成係			
	総合計画 分野別計 画	主目的	4 教育文化		17 生涯学習		3 健全な青少年を地域で育てる				
		副目的	12-1		16-3						
	予算区分	款	10	項	5	目	4	大	4	中	1
	根拠法令・個別計画	生涯学習のまちづくり基本構想・基本計画									
	実施・運営 方法	<input type="radio"/> 市が直接実施・運営			<input type="radio"/> 地域住民組織			一部又は全部委託			
		指定管理・外郭団体			名称:						
		NPO・その他			名称:						
目的 (対象をどの様な状態にするのか)	学校地域コーディネーターを学校に派遣することにより、地域の方が学校の支援をする機会と、子どもたちが地域活動などに参加する機会を推進する。また、青少年健全育成市民会議への補助を行うことにより、全市あるいは各中学校区健全育成会での、青少年健全育成を図る。										
内容 (手段)	<p>○青少年の健全育成を啓蒙するため、市民でつくる青少年健全育成市民会議へ補助を行った。(補助金3,520千円: ・あいさつ運動の推進、地域ふれあい活動の推進、いじめ・非行防止啓発活動、明るい家庭づくりの推進、安全安心の地域環境づくり、ネット犯罪やトラブルから青少年を守る運動の推進、青少年非行防止キャンペーン・青少年による本をすすめる運動・家庭の日推進運動)少年センターが市民会議の事務局となっている。</p> <p>○学校地域コーディネーターを県委託事業、「学校地域支援本部事業」【委託金:1,860千円】と位置づけ、各中学校へ1人～2人配置した。(報償費2,001千円) ・コーディネーターは学校と地域のパイプ役として学校と相談しながら活動し、ボランティアの取りまとめや子どもたちの地域活動の推進を図った。</p> <p>○インターネットの情報提供サイト「学びノート」で子どもたち等が参加できる情報を提供し、学校外での活動の啓発を図った。</p>										
受益者負担	無	内容									

		単位	H21決算額	H22決算額	H23予算額	
コスト	直接経費		千円	7,687	7,224	13,226
	正職員	従事者数	人	0.49	0.50	0.50
		人件費	千円	2,628	2,682	2,682
	その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	1.00
		人件費	千円	0	0	1,323
	費用合計		千円	10,315	9,906	17,231
	対前年比		%		96.0	
財源	一般財源		千円	8,257	8,046	15,935
	国・県支出金		千円	2,058	1,860	1,296
	その他財源		千円	0	0	0

業 績	活動指標	活動指標名	単位		H21	H22	H23	
		中学校地域コーディネーター人数	人	目標		9	9	9
				実績		12	12	
		学びノート情報登録団体数	団体	目標		10	10	10
				実績		5	11	
			目標					
			実績					
	成果指標	成果指標名	単位		H21	H22	H23	
		中学校地域コーディネーター活動回数	回	目標		702	702	702
				実績		735	667	
学びノートアクセス数		件	目標		120,000	120,000	120,000	
			実績		141,221	121,573		

事業の自己評価 (一次評価)	事業目的の達成状況	中学校地域コーディネーターの活動回数は目標達成に到達していないものの、学校と地域を結び、学校と地域による青少年の健全育成を着実に推進した。また、コーディネーターに研修を2回開催し、地域の教育力の向上に繋がった。				
	事業を廃止・休止したときの影響	事業を廃止すれば、市民総ぐるみの健全育成活動の気運が盛りさがり、学校と地域のパイプ役が失われることから、子どもたちの地域活動が減少すると思われる。				
	判定	B	市が実施(改善が必要)			
	判定理由	学びノートについて、さらに利用を推進するようシステムの改善が必要である。				
	今後の事業の方向性 (今後の取組み・改善計画等)	地域の教育力の向上を推進するため、引き続き中学校地域コーディネーター派遣や、青少年健全育成市民会議への補助金などの支援をしていく。 また、学びノートについては、ご当地検定などの付加価値をつけ、楽しみながら利用できるようにしていきたい。				

二次評価	判定	B	市が実施(改善が必要)		
	判定理由	一次評価のとおり			